

検査結果及び専門機関の意見を踏まえた当社の見解

【健康に関する項目】

No.	検査項目	単位	基準値	検査値	見 解
2	大腸菌群	(50ml 中)	検出されないこと	検出(陽性)	大腸菌群は、糞便に無関係な植物、土壌、水などに存在している菌も含まれています。糞便汚染の指標となる大腸菌は検出されていないため、健康に影響する可能性は極めて低いと考えられます。
27	大腸菌(クリプトスポリジウム指標菌)	(100ml 中)	検出されないこと	不検出(陰性)	
8	シアン(シアンイオン及び塩化シアン)	mg/l	0.01	<u>0.017</u>	飲食に使用した水量を考慮すると、期間中の一人あたりの摂取量に鑑み、健康に影響する可能性は極めて低いと考えられます。
9	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	10	<u>32.6</u>	亜硝酸態窒素は定量下限値未満となっており、大部分は硝酸性窒素となっています。硝酸性窒素は野菜等にも含まれ、過剰に摂取した場合に健康に影響する場合がありますが、飲食に使用した水量を考慮すると、期間中の一人あたりの摂取量に鑑み、健康に影響する可能性は極めて低いと考えられます。
28	亜硝酸態窒素	mg/l	0.04	0.004 未満 (定量下限値: 0.004)	
1	一般細菌	個/ml	100	0	いずれも基準値以内となっています。 (いずれも定量下限値未満)
3	ガドミウム	mg/l	0.01	0.0003 未満	
4	水銀	mg/l	0.0005	0.00005 未満	
5	鉛	mg/l	0.1	0.001 未満	
6	ヒ素	mg/l	0.05	0.001 未満	
7	六価クロム	mg/l	0.05	0.005 未満	
10	フッ素	mg/l	0.8	0.05 未満	
11	有機リン	mg/l	0.1	0.1 未満	

「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の検査値は、検査機関からの訂正を受け、200mg/lから 32.6mg/lに修正しております(令和6年12月16日)。なお、健康に影響する可能性が極めて低いとの見解は変わりません。

【色、濁り、においなど生活用水としての使用に関する項目】

No.	検査項目	単位	基準値	検査値	見 解
16	塩素イオン	mg/l	200	<u>320</u>	健康に関する項目ではないため、健康に影響はないと考えられます。
18	蒸発残留物	mg/l	500	<u>879</u>	
21	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/l	10	<u>12.6</u>	
25	色度	度	5	<u>5.7</u>	
29	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/l	3	<u>10.3</u>	
12	亜鉛	mg/l	1.0	0.13	いずれも基準値以内となっています。
13	鉄	mg/l	0.3	0.13	
14	銅	mg/l	1.0	0.01 未満	
15	マンガン	mg/l	0.3	0.029	
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	300	123	
19	陰イオン界面活性剤	mg/l	0.5	0.02 未満	
20	フェノール類	mg/l	0.005	0.005 未満	
22	pH 値	—	5.8~8.6	6.9(21.8℃)	
24	臭気	—	異常でないこと	異常なし	
26	濁度	度	2	0.6	
23	味	—	異常でないこと	測定不可	

※検査機関による「検査報告書」のNo.を記載